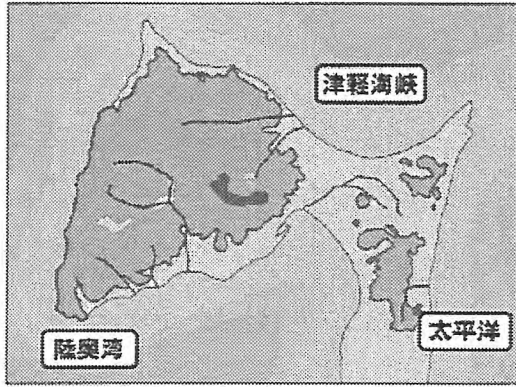


開かれた国有林を目指した下北森林管理署の取組みについて

下北森林管理署 東通森林官 井堀 秀雄

1 はじめに

下北森林管理署の管理する国有林は、青森県下北半島の1市3町4村に位置し、その面積は、87,000 haに及び、下北地域全体の約6割を占めている。また、国有林内の全ての河川が津軽海峡、陸奥湾、太平洋へ注いでおり、各種事業実行に配慮が求められている実態にある。管内には下北半島国定公園、恐山山地森林生態系保護地域、大畑ヒバ施業実験林等を抱え、数多くの入林希望、森林教室、体験林業等要請が寄せられている状況にある。近年、森林に対する国民の期待や要望は、公益的機能の発揮を中心にさらに多様化している。



青森県下北半島の約6割が国有林

こうしたなかで、当署では、名実ともに開かれた「国民の森林」の実現に向けて、国有林野が期待される役割を果たすため、また森林・林業や国有林野事業への理解を深めてもらえるよう、さまざまな主体と連携して、イベント等を数多く実施している。

森林・林業等に関する普及啓発

- 下北林活議員連絡会議
- むつ市政記者会国有林視察会
- 下北地区市町村議会議員合同研修会
- 地域材を使った住宅見学バスツアー
- みんなの消費生活展
- わきのさわ森林浴ウォーク大会
- 佐井村ふるさとフェア・写真大会
- 森と湖に親しむ集い
- 大畑町自然環境学習会
- 大畑小学校大畑ヒバ施業実験林見学会
- 鳳間浦村立小学校ひうちヶ岳林縁登山

ほか

県市町村・各種団体との連携

- 市町村別連絡会議
- 民有林・国有林行政打合せ
- 地域材の販売に関する情報懇談会
- 植樹祭・山火事防止対策協議会
- 片崎山ツツジ盗掘防止対策連絡会
- 山野葎盗掘防止対策会議
- 緑を守る県民ボランティア活動
- 森の巨人たち百選「めぐり」歩道、観察デッキ整備
- 釜臥山清掃登山
- 沢名敷設置

ほか

フィールドの提供

- 遊々の森「鉾山の森」(川内町)
- 遊々の森「鯨っこの森」(鰐野沢村教育委員会)
- ふれあいの森「かけはしの森」
(大畑町林業振興対策協議会)
- ふれあいの森「みらいの森」
(むつみらいライオンズクラブ)
- 漁民の森づくり活動推進事業植樹祭
- 鳳間浦村立鳳間小学校林業体験学習
- 緑の雇用育成対策事業実地研修
- テレビ番組制作への協力

ほか

今回は、実施してきたイベント等を「森林・林業等に関する普及啓発」、「県市町村・各種団体との連携」、「フィールドの提供」と3つに分類し、数件を報告する。

2 事業内容

(1) 森林・林業等に関する普及啓発



大畑ヒバ施業実験林を見学

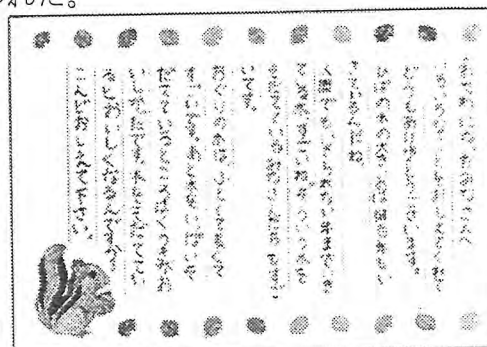
児童たちは、ヒバの稚樹から壮齢木、樹齢300年を超える老齢木が混生している施業林、樹齢800年を超えてそびえ立つクリの木「おぐり」に接することで、学習の目的である地域の自然について、いっそうの理解を深めるとともに、森林が果たす水資源のかん養機能や自然を維持・管理する大切さを学んだよう

である。児童たちは、この見学会を通して「人間より長く生きている木はすごいと思いました」「木がたくさんあるところは空気がおいしかった。木を育てていると空気はおいしくなるのですか」など森林や自然に対して興味を持った様子であった。

① 大畑町立大畑小学校見学会

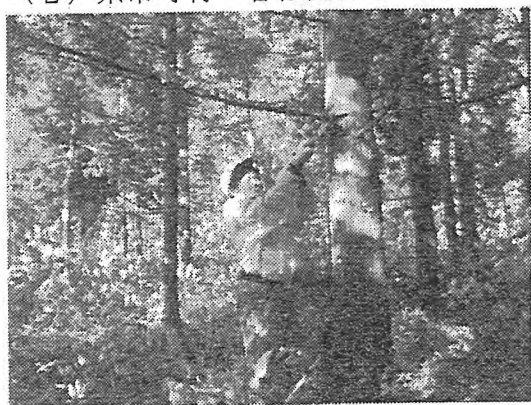
大畑町立大畑小学校が、総合学習の一環として、「大畑ヒバ施業実験林」および「森の巨人たち百選『おぐり』」において、見学会を行った。

この見学会は「これまでの理科学習のまとめとして、地域の自然における植物の様子を実際に観察・見聞して、理解をいっそう深める」ことを目的として行われた。



小学校児童よりお礼の手紙

(2) 県市町村・各種団体との連携



ボランティアによる枝打ち作業

また、枝打ち作業終了後には、ゴミの収集も行われ、林内のゴミを一掃することができた。収集されたゴミは、地元むつ市の協力により、処分された。

なお、作業の指導・協力には、当署職員が担当し、民有林行政との連携を図ることができた。

① 緑を守る県民ボランティア活動事業

青森県下北地方農林水産事務所主催により、国有林内において、県民ボランティア活動（枝打ち作業）が行われた。

作業箇所は、むつ市の水ガメである上水道管理センター周辺で行われ、参加者は約30名で、森林整備が水資源に貢献していることの県民に対する意識高揚を目的として実施された。



林内のゴミも一掃

(3) フィールドの提供

①「ふれあいの森」における活動（むつみらいライオンズクラブ）



クラブ会員によるヒバの植樹

平成12年にむつ市のむつみらいライオンズクラブとの間で協定を締結した「ふれあいの森」において、同クラブ主催によりヒバの植樹会が開催された。

同クラブは協定締結から5年間継続して、植樹と保育の森林整備体験活動を実施している。今年度はクラブ会員12名、当署より4名が参加した。

作業の合間には、当署職員と森林づくりの技術や長期間の管理方法などについて意見交換したり、会員同士の情報交換など、異業種の会員で構成される団体ならではの活動が行われた。

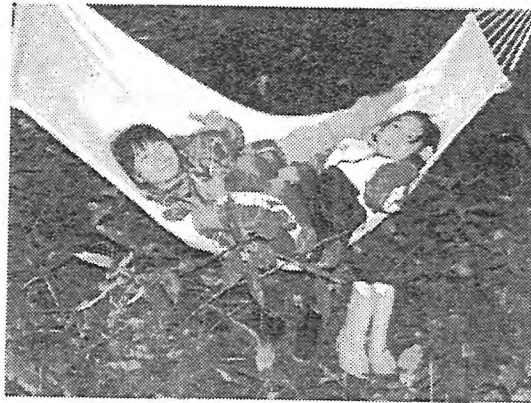
会員の方々からは、今後の森林づくり活動もこれまで同様実施していきたいという旨の要望が出され、当署として積極的に対応していきたいとの考えを伝えたところである。

②「遊々の森」における活動（脇野沢村教育委員会）

脇野沢村教育委員会との間で平成15年9月に「遊々の森」における体験活動に関する協定を締結した。

同教育委員会には「鱈っ子クラブ」、「お猿の探検隊」という2つの団体があり、従来より森林と親しむ活動や自然観察会等を行ってきた。

今年度の活動は、ハンモック遊びやツリークライミング、「地球温暖化と森林・木材」と題した森林教室、間伐材を使ったテーブル、イスの作成を行った。



ハンモック遊び



ツリークライミング

また、当該地域には特別天然記念物のカモシカや北限のニホンザルが生息しており、森林の働きの学習、動物、昆虫観察には最適なフィールドとなっている。今後も講師の派遣などを通じて、児童の環境・情操教育に協力していきたいと考えている。

③「緑の雇用担い手育成対策事業」の支援のための協定締結

平成16年6月に、林業労働者の育成・定着を図る「緑の雇用担い手育成対策事業」のOJT研修（職場内実地研修）の場として国有林を提供する協定を林業事業体との間で締結した。

今回、協定を締結した同事業体では、21歳から59歳までの女性5名を含む10名が受講している。当署としては、「緑の研修生」の育成・定着を図るため、各種事業体等から研修フィールドの要望があれば積極的に国有林を提供していきたいと考えている。



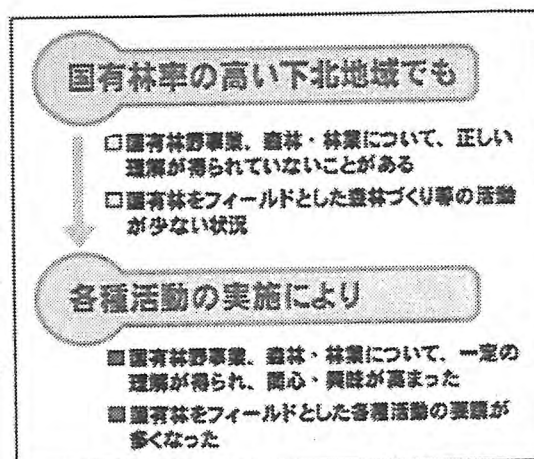
協定締結式

なお、昨今の雇用情勢の厳しさや、森林整備の重要性などが報道機関に取り上げられる中、この度の締結式にはテレビ局2社、新聞社1社の取材があり、関心の高さが伺われた。

3 まとめ

以上のような各種普及啓発活動、フィールドの提供等を通じて、地域住民の方々をはじめ多くの方に、森林・林業、国有林野事業について理解を深めてもらうことができたと考えている。

国有林の占める割合が高い下北地域ではあるが、国有林野事業および森林・林業について正しく理解を得られていないことも多々あり、こうした中で一定の理解を得、意義あるものであったと考えられる。



4 今後の課題

今後に向けて

- 広報等による地域へのアピール
- 地域の要請の的確な把握
- 地域の要請を反映した取組の推進

○ 広報等による地域へのアピール

森林・林業、国有林野に興味のある方々へはもちろん、そうでない方々にも少しでも興味をもってもらえるよう、マスコミ等への情報提供、また、職場広報誌の外部団体への配布等により、積極的にアピールしていく必要がある。

○ 地域の要請の的確な把握

地域住民が何を求め、何がしたいのか、当署の行っている活動・取組ははたし

今回、取り上げた活動は、地域住民をはじめ、ボランティア団体、区市町村、マスコミ等多くの人や組織によって支えられているものである。

今後も、これらの方々の要望、要請に応えるため、すなわち名実ともに開かれた「国民の森林」を実現するため、当署として以下の3つを課題とし、その達成に向け努力するものである。

てそれを受けているものであるのかを把握するために、イベントなどの際でのアンケートの実施や、交流会、意見交換会等の開催により、それらを明確にする必要がある。

○地域の要請を反映した取組の推進

今後、地域からの要請を的確に把握し、その要請を反映した取組を実施することで、名実ともに開かれた「国民の森林」を実現するため、努力が必要である。